

# 山口県地域公共交通協議会 令和8年度第1回会議 議事概要

- 1 日 時 令和8年6月5日（金）14：00～14：30
- 2 場 所 県庁本館棟4階 共用第1会議室
- 3 参加者 出席者名簿のとおり
- 4 内 容

## ■会長挨拶

- 地域公共交通は、県民生活を支える欠かすことができない基盤として、日常生活はもとより、地域の経済活動や観光振興においても重要な役割を果たしている。
- しかしながら、利用者の減少や運転士不足など、地域公共交通を取り巻く環境は極めて厳しく、地域の足を守り元気にしていくためには、将来の人口減少や年齢構造の変化を見据え、市町や交通事業者等と連携して、総合的な交通政策を積極的に推進することが必要である。
- このため、官民一体で本県の地域公共交通が目指すべき将来像や、取組の方向性等をとりまとめた「山口県地域公共交通ビジョン」を策定することとした。
- 市町や交通事業者の皆様と緊密に連携しながら、地域での暮らしの基盤となる地域公共交通の確保と活性化を図るため、委員の皆様とともに、積極的に取組を推進していきたいと考えているため、御協力をお願いする。

## ■委員紹介

- 出席者名簿により紹介

## ■議事

### (1) 報告事項

#### **第1号** 山口県の地域公共交通の現状等について

- 事務局より資料（P2～9）に沿って説明
- 質疑等なし

## (2) 議案

### 第1号 監事の選任について

- 委員の互選により、公益社団法人山口県バス協会 東田委員を選任

### 第2号 令和8年度事業計画・予算について

- 事務局より資料（P12～14）に沿って説明
- 質疑等なし
- 議案第2号について、提案のとおり承認

### 第3号 山口県地域公共交通ビジョンの策定について

- 事務局より資料（P15～19）に沿って説明
- 議案第3号について、提案のとおり承認

#### 【質疑・意見等】

##### (榊原委員)

- 多くの市町が既に地域公共交通計画を作成している中で県が地域公共交通ビジョンを策定するという事で、県と市町の役割分担が非常に大事ではないかと考えている。
- 県で実施した方がいいのではないかと思うものは、2点あり、1点目は広域交通である。幹線バス系統や鉄道があるが、高校生の通学に関しては市町を超えたものが多く、県内大学の地元定着には通学環境も大事である。高校生・大学生の通学手段を考えると、公共交通が大変重要ではないかと思う。
- もう1点は担い手確保である。県央の市町で連携して実施している事例はあるが、担い手確保というものは、県で広域的に取り組むことが有効ではないかと感じている。

##### (飯田委員)

- 山口県内には色々なローカル線があり、厳しい状況となっている。そのため、輸送密度が1日2,000人未満の線区は、大量輸送という観点で鉄道の特

性が十分に発揮できていないということを背景として、以前から課題を提起させていただいている。

- 今回の地域公共交通ビジョンの策定に際し、そうした線区についての議論の進め方等もテーマとしていく必要があると認識している。

#### **(村野委員)**

- 鉄道事業者にとっては、想像がつかない想定外の自然災害ということも安全運行に資する大きな要素ではないかと思っている。
- 美祢線についても想定外の局地的な災害であり、利用者や担い手の確保以外にも、想定外の災害が発生した場合の早期復旧に向けたパッケージ等について議論していきたい。

### **(3) その他委員発言**

#### **(前田副会長)**

- 重要な生活基盤である公共交通は大変な状況にある。そのような中、このような会議体を作り県が先頭に立ってみんなで解決していこうという取組について感謝申し上げる。
- 地域公共交通のDXについては、運転手確保のために必要であり、この先10年20年と今より厳しい状況の中で生き残りをかけるために備えてやらないといけない。
- そのため、デジタル導入等について、県でリーダーシップをとっていただきたい。また、地元で頑張る部分は市長会でも議論して前向きに協力していくという体制をとっていきたい。

#### **(花田副会長)**

- 本協議会の設立の最初の協議会ということで、たくさんの専門的なご意見を聞かせていただき感謝する。
- 人口減少や少子化が進行しており、その中でも、地域の足の確保という問題については単なる交通問題というわけではなく、地域住民への福祉、地域の活力創生に直結する極めて深刻な問題であるという認識がある。
- 本町においては町内全域でデマンド交通を実施するなど、様々な交通ネットワークを駆使しながら努力をしているところだが、限られた財源や深刻な

運転士不足・人材不足という中では、それぞれの自治体の努力だけでは難しいものがある。

- 県で協議会を立ち上げていただき、新たなビジョンを策定いただけるということは本当に意味深いものであり、今後会議の中で議論が深まり、山口県の地域公共交通の確立に向けた議論がなされることを期待している。